

UCIAニュース

発行　宇治市国際交流協会
事務局　〒611－8501　宇治市宇治琵琶33 宇治市役所秘書広報課内
電　話　0774－22－3141（内線2058）　FAX　20－8776
Eメール hishokohoka@city.uji.kyoto.jp

第　100　号
令和8年（2026年）10月

協会設立40周年とUCIAニュース第100号記念

宇治市国際交流協会の活動を、会員はもとより市民の皆様にも広くお知らせしてきましたUCIAニュース（旧UIFAニュース）が第100号を数えることになりました。また協会は、1987年に市民の国際感覚を深め、市民レベルで親善交流を促進するために設立されてから、来年2027年に設立40周年という大きな節目を迎えます。100号と40周年が重なるこの特別な号で協会の歩みを振り返ります。

宇治市国際交流協会設立40周年を迎えて

会長　山本　正



宇治市国際交流協会は、令和9年（2027年）3月に、設立40周年という大きな節目を迎えます。この記念すべき年を迎えられますことは、これまでの協会の活動を支えてくださった会員の皆様をはじめ、ボランティアの皆様、関係団体の皆様の温かいご理解とご協力の賜物であり、心より感謝申し上げます。

昭和62年（1987年）3月28日の設立以来、本協会は「国際理解の促進」と「多文化共生の地域づくり」を目指し、さまざまな国際交流事業に取り組んでまいりました。友好都市との交流をはじめ、国際理解や文化交流のイベント、日本語支援、外国人住民への生活支援など、そのニーズに応じた活動を積み重ねてまいりました。

この40年間で、私たちを取り巻く社会は大きく変化しました。交通や通信の発達により世界との距離は縮まり、宇治市においても多くの外国人住民が生活し、学び、働く地域へと変化しています。国際交流は特別なものではなく、日常の中でともに暮らす身近なものとなりました。互いの文化や価値観を尊重し、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めていくことは、これまで以上に重要になっています。

これまで受け継がれてきた思いを大切にしながら、新しい時代にふさわしい国際交流・多文化共生の在り方を模索し、誰もが安心して暮らし、活躍できる地域社会の実現に向けて歩み続けてまいります。

結びに、本協会の活動に長年にご尽力いただいた歴代会長をはじめ、役員、会員、ボランティア、関係機関の皆様に改めて深く感謝申し上げますとともに、今後とも宇治市国際交流協会への変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

※宇治市と友好三都市に関わる写真や資料等を募集しています。ご提供いただける方は事務局までご一報ください。

協会40年のあゆみ

宇治市と友好都市盟約を結ぶ三都市との歩みは、市民一人ひとりの温かい草の根交流によって育まれてきました。宇治市国際交流協会（旧宇治市国際親善協会）は設立以来、市の公式訪問団や友好都市を含む海外からの来賓の受け入れにおいて、語学ボランティアによる通訳支援や手作りの歓迎会の開催など、行政と一体となって心の通うおもてなしを担ってきました。これまでの息の長い活動と絆の歴史を振り返ります。

【1986年～1995年】協会の発足と友好都市の広がり

1986年（昭和61年）　【咸陽市・ヌワラエリヤ市】

宇治市が４月にヌワラエリヤ市と、７月に咸陽市と、友好都市盟約を締結。



1987年（昭和62年）　【協会設立】【ヌワラエリヤ市】

市民レベルの国際交流を推進するため「宇治市国際親善協会（現・宇治市国際交流協会）」が設立。
【ヌワラエリヤ市】市公式訪問団が訪問。『日本庭園』完成。（７月）





1990年（平成2年）　【カムループス市】

友好都市盟約を締結。（７月）
三都市との友好の枠組みが完成。



1993年（平成5年）　【カムループス市】



カムループス市市制施行100周年を記念し、市公式訪問団が訪問。
記念行事「カナダゲーム」を観戦。

1995年（平成7年）　【咸陽市】

咸陽市へピアノ５台を贈呈。

【1996年～2005年】移り変わる各国の社会情勢の中で深まる交流

1996年（平成8年）　【咸陽市・ヌワラエリヤ市・カムループス市】

第13回宇治川マラソンに三都市からの選手団が参加しスポーツ交流を実施。（２月）
宇治市植物公園の開園式に合わせて三都市の市長が来訪。植樹等の行事や歓迎会を開催。（10月）





1997年（平成9年）　【中国帰国者向け日本語教室】

中国帰国者自立支援日本語講座を実施。
60名が学ぶ。

2000年（平成12年）　【協会事業】

淡路花博（国際園芸・造園博ジャパンフローラ 2000）にて協会事業として「スリランカ友の会」の26名が舞踊を披露。




2000年（平成12年）　【カムループス市】

宇治市・カムループス市友好都市盟約締結10周年記念訪問団がカムループス市を訪問。カムループス市での記念式典に出席。

2001年（平成13年）　【咸陽市】

友好都市盟約15周年記念公式訪問団が公式訪問。記念式典や新世紀友好宣言文の調印、黄土高原での植林緑化する『宇治友好の森』起工式への参加等で友好を深める。（10月）



【2006年～2015年】草の根の異文化交流により広がる絆

2006年（平成18年）

【咸陽市】

友好都市盟約締結 20 周年を記念し、咸陽市から公式訪問団が来訪。兵馬俑が贈られる。（7 月）
咸陽市の子どもたちに本を贈る会が咸陽市及び贈書のため咸陽市武功県南可小学校を訪問。（10 月）



2008年（平成20年）

【協会事業】

交流の希望があったペーチ市（ハンガリー）を、協会会員が訪問。（8 月）



2011年（平成23年）

【咸陽市】

咸陽市 25 周年友好親善訪問団が訪問。友好合同切手展を開催。『宇治友好の森』植樹林などを視察。

2014年（平成26年）

【協会事業】

日本語支援ボランティア養成講座を初めて開講。（9～11 月）

2015年（平成27年）

【カムループス市】

盟約締結 25 周年を記念し、公式訪問団が来訪。（10 月）



【2016年～2026年】節目の周年と新たな時代への歩み

2016年（平成28年）

【ヌワラエリヤ市】【咸陽市】

【ヌワラエリヤ市】友好都市提携 30 周年を記念し、ヌワラエリヤ市より公式訪団が来訪。（5 月）
【咸陽市】友好都市盟約 30 周年を記念し、公式訪問団が来訪。（7 月）



2017年（平成29年）

【ヌワラエリヤ市】

市民訪問団がヌワラエリヤ市を訪問し友好都市提携 30 周年記念式典に出席。（1 月）



2021年（令和3年）

【名称変更】【直営日本語教室】【咸陽市】

多文化が共に生きる社会を創り上げていくため『宇治市国際交流協会』に名称変更。多文化共生の活動にも軸を置くため名称を変更し、規約に多文化共生に係る事項を追加。（4 月）
直営日本語教室を開設。（6 月）
【咸陽市】提携 35 周年を記念し両市民の作品による「友好交流絵画展」を開催。新型コロナの影響で直接訪問は叶わず。（10 月）





2026年（令和8年）

【ヌワラエリヤ市】

2025 年 11 月末に発生したサイクロンによるヌワラエリヤ市の被災に対する救援金を募り、ヌワラエリヤ市へ送金。（8 月）

令和8年度総会を開催

令和８年度宇治市国際交流協会総会を４月18日（土）に宇治市生涯学習センターにおいて開催しました。
総会では令和７年度事業報告・決算が承認、令和８年度事業計画・予算が決定されました。
令和７年度事業報告・決算及び令和８年度事業計画・予算を紙面にてお知らせします。

令和７年度　【事業報告】

1.啓発・研修事業

事業名	実施時期	事業内容	実施場所
①国際交流講演会	4月19日	国際理解推進を図るため、会員及び市民を対象に、令和6年に国宝に指定された『黄檗山萬福寺の歴史・文化の探訪』と題して、萬福寺が宇治市や日本に与えた影響について宗務総長の荒木将旭禅師に講演いただいた。	生涯学習センター
②協会ニュースの発行	年2回（7月、1月）	各400部を発行し、各会員や友好都市関係団体などに配布した。	
③ホームページ管理運営	適宜更新	各種ボランティア募集、加入団体・法人の紹介、日本語教室と各種講座の紹介、イベントの実施を報告した。	
④語学講座	11月5日～12月3日	会員や市民を対象に『英会話入門・初級・中級』講座を実施した（全5回）。受講生：入門：7名、初級：9名、中級：10名。	生涯学習センター
⑤ボランティア養成講座	9月28日～11月9日	日本語の学習を希望する在住の外国人に日本語を教えるボランティアの養成講座を開催（全5回）。受講生：17名	総合福祉会館
⑥日本語講座	通年	当協会主催の日本語教室を年間を通じて開講した。 また、朋友館とスピークサロン、宇治日本語教室が実施している日本語教室に協力金を交付した。 学習支援者確保のためのパンフレットを作成した。	総合福祉会館　他
⑦多文化共生事業		宇治市に住む外国の方に、3か月に一度、FMうじより母国の紹介をするとともに、市政情報について母語で発信していただいた。	
⑧市民啓発・国際理解交流	12月14日	『うーちゃフェスタ』（主催：宇治市健康づくり・食育アライアンス）のイベントにブースを出店してアメリカ合衆国、フランス、アイルランドの方々とその国のお菓子を販売。協会紹介パネルを展示。	産業会館

2.交流推進事業

事業名	実施時期	事業内容	実施場所
①友好都市からの訪問団の受入など	5月20日～5月23日	宇治市を来訪したカナダ、カムループス市、トンプソン・リバーズ大学学生等一行16名を迎えて、22日に協会会員の協力の元ホームビジットを実施。23日に市民交流歓迎会を開催した。	宇治市職員会館　2階

3.その他の事業

事業名	実施時期	事業内容	実施場所
①滞日外国人に対する防災対策	適宜	京都府国際課及び京都府国際センター共催の災害時外国人支援ワーキング会議に宇治市危機管理室とともに出席。また、9月13日に外国人住民のための防災研修会を消防署で行い、10月19日に開催された宇治市主催の防災訓練にブースを出展し、外国人住民にも参加いただいた。	中消防署 南部小学校
②各種国際交流・国際理解事業の支援	通年	協会加盟団体等が実施する国際交流・理解事業に補助金を交付して支援。	
③関係団体との連携・協力	通年	関係団体主催事業への参加、協力、後援。	
④府・他市町村との連携	適宜	広報誌などを通じての情報交換、連携。	
⑤（公財）京都府国際センターとの連携	適宜	（公財）京都府国際センターへの評議員派遣、国際交流団体等との連携を促進。	
⑥ヌワラエリヤ市災害救援金	1月8日～3月15日	2025年11月末に起きたヌワラエリヤ市での災害に対する救援金の募集活動を各公共施設へ募金箱を設置するなどして行った。	
⑦団体会員の活動	適宜	宇治市日本中国友好協会：京都府より表彰（6月） 友好都市（咸陽市）訪問（11月）	

令和７年度 【決算報告】

収入の部

項目	当初予算額	収入済額	差引増減	説明	
1.会費	440,000	479,000	39,000		
				1 個人会員 132人（内学生5名@千円）	259,000
				2 団体会員 18団体	90,000
				3 法人会員 13団体	130,000
2.補助金	1,300,000	1,249,000	−51,000		
				1 協会事業補助	1,249,000
3.負担金	110,000	146,000	36,000		
				1 語学講座参加者負担金（@7,000×6人、@5,000×20人）	142,000
				2 日本語ボランティア講座参加者負担金（@2,000×2人）	4,000
4.繰入金	287,000	24,334	−262,666		
				1 交流活動事業繰入金	24,334
5.繰越金	0	0	0		
				1 前年度繰越金	0
6.雑入	0	4,599	4,599		
				1 預金利息	4,599
				2 寄附	0
				3 その他	0
合計	2,137,000	1,902,933	−234,067		

支出の部

項目	当初予算額	支出済額	差引増減	説明	
1.会議費	10,000	65,250	55,250		
				1 総会・理事会・運営部会	65,250
2.事務費	60,000	49,196	−10,804		
				1 事務消耗品	19,311
				2 印刷代	29,885
3.事業費	2,060,000	1,788,487	−271,513		
				1 国際交流講演会	30,000
				2 会報発行	160,386
				3 ホームページ管理運営	94,630
				4 語学講座	191,860
				5 日本語基礎講座	638,854
				6 日本語ボランティア養成講座	128,440
				7 支援者確保のための広報	350,570
				8 友好都市歓迎事業	49,808
				9 海外友好交流推進事業	0
				10 提携事業	90,000
				11 防災対策事業	37,291
				12 周年記念事業	0
				13 市民啓発・国際理解交流	16,648
4.諸支出金	7,000	0	−7,000		
				1 構成団体会議出席負担金等	0
合計	2,137,000	1,902,933	−234,067		

令和８年度　【事業計画】

1.啓発・研修等事業

事業名	実施時期	事業内容	実施場所
①国際交流講演会	4月18日	国際理解推進を図るため、会員及び市民を対象に講演会を開催する。	宇治市生涯学習センター
②協会ニュースの発行	年2回	各400部を発行し、各会員や友好都市関係団体などに配布する。	
③ホームページ管理運営	適宜更新	ホームページに各種講座案内、お知らせ、事業報告等を掲載する。	
④語学講座	11月～12月	会員や市民を対象に語学講座を実施する。（全8回）	宇治市生涯学習センター
⑤日本語支援ボランティア養成講座	10月～12月	市内在住の外国人に日本語を教えるボランティアの養成講座の開催。	宇治市総合福祉会館
⑥日本語支援ボランティアスキルアップ講座	7月～12月	市内で活動中の外国人に日本語を教えるボランティアのスキルアップを図る講座の開催。	未定
⑦日本語講座	通年	当協会主催で市内在住の外国人を対象にした教室を毎週土曜日に開催する。また、外国人対象の市内の日本語教室を支援する。	宇治市総合福祉会館
⑧支援者確保のための広報	適宜	支援者確保のための広報をSNS等で適宜行う。	
⑨多文化共生事業	通年	多文化共生に必要な異文化理解の一助として市内在住の外国人と市民との交流会等の開催。	
⑩市民啓発・国際理解交流	適宜	市民を対象に国際理解、交流を目的とした講座や交流会を開催する。	

2.友好都市との主な取り組み

事業名	実施時期	事業内容	実施場所
①友好都市からの訪問団の受入など	5月中旬	カムループス市からトンプソンリバーズ大学関係者を受入。	
②友好都市への訪問団の派遣など		なし	
③来訪者歓迎・海外友好交流促進	適宜	外国都市からの来訪者の歓迎、友好都市をはじめ海外都市との友好交流促進。	

3.その他の取組み

事業名	実施時期	事業内容	実施場所
①滞日外国人に対する防災対策	適宜	宇治市に居住もしくは観光される外国人に対する防災対策の取り組み。	
②各種国際交流・国際理解事業の支援	通年	協会加盟団体等が実施する国際交流・理解事業に補助金を交付して支援。	
③関係団体との連携・協力	通年	関係団体主催事業への参加、協力、後援。	
④府・他市町村との連携	通年	広報誌などを通じての情報交換、連携。	
⑤(公財)京都府国際センターとの連携	適宜	(公財)京都府国際センターへの評議員派遣、国際交流団体等との連携を促進。	
⑥周年事業		友好都市提携40周年事業（咸陽市、ヌワラエリヤ市） 協会設立40周年記念事業	

令和８年度 【予　　算】

収入の部

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減	説明	
1.会費	420,000	440,000	−20,000		
				1 個人会員　@2,000×100人	200,000
				2 団体会員　@5,000×18団体	90,000
				3 法人会員　@10,000×13団体	130,000
2.補助金	1,300,000	1,300,000	0		
				1 協会事業補助	1,300,000
3.負担金	110,000	110,000	0		
				1 語学講座参加者負担金	110,000
4.繰入金	537,000	287,000	250,000		
				1 交流活動事業積立金より	437,000
				2 周年事業積立金より	100,000
5.繰越金	0	0	0		
				1 前年度繰越金	45,602
6.雑入	0	0	0		
				1 預金利息等	0
合計	2,367,000	2,137,000	230,000		

支出の部

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減	説明	
1.会議費	60,000	10,000	50,000		
				1 総会会場・通信等	60,000
2.事務費	60,000	60,000	0		
				1 消耗品代	30,000
				2 印刷代	30,000
3.事業費	2,240,000	2,060,000	180,000		
				1 国際交流講演会	30,000
				2 協会ニュース発行	130,000
				3 ホームページ管理運営	120,000
				4 語学講座	220,000
				5 日本語基礎講座	600,000
				6 日本語支援ボランティア養成講座	200,000
				7 日本語支援スキルアップ講座	200,000
				8 支援者確保のための広報	100,000
				9 友好都市歓迎事業	300,000
				10 提携事業	90,000
				11 防災対策事業	50,000
				12 周年記念事業	100,000
				13 市民啓発・国際理解交流	100,000
4.諸支出金	7,000	7,000	0		
				1 構成団体会議出席負担金等	7,000
5.予備費	0	0	0		
				1 予備費	0
合計	2,367,000	2,137,000	230,000		

国際交流講演会



今年度も総会に先立ち、国際交流講演会を開催しました。

今回は、当協会直営日本語教室で日本語を学習されている Bada Manraj さんより、母国のネパールについてお話して頂きました。Bada さんと同じ日本語教室に通われている学習者の皆さんやチラシを見てネパールのお話が聞きたい、と来場された方々もいました。

Bada さんは、ネパールのアムリット大学に入学されましたが、日本語学校に語学留学のため退学されました。日本語学校卒業後、東亜経理専門学校へ入学、卒業されました。現在は、日本の食品会社で製造や生産管理に携わっておられます。ネパールと日本は、同じアジア圏でありながら、ヒマラヤの険しい自然と独自の宗教観が育んだ「違い」がたくさんあるそうです。

Bada さんはネパールの衣装で講演されました。

まずはネパールの文化について、あまり知られていない事実として、人口の八割程度がヒンドゥー教徒で仏教徒は約一割程度だそうです。ルンビニはインドで仏教を開いたゴーダマ＝シッダールタの生誕地でありネパールにあります。

次に Bada さんの結婚式の様子をたくさんの写真で見せていただきました。金や赤を基調として色鮮やかな衣装と様々な色の花の装飾品が素晴らしかったです。たくさんの方々がお祝いに参列されていました。

その後ネパールの観光地を紹介していただきました。先に「どこに行きたいか考えておいてくださいね」との声掛けがあり、10 か所ほどの観光地について写真を交えてテンポよく紹介いただきました。

パシュパティナート寺院（ヒンドゥー教）、タライ平原に位置するチトワン公園、ナガルコットのヒマラヤ展望地、フェワ湖に映る山脈、イラム紅茶の農園など、どこも日本にはない彩りと景色で、高い山にあるところがほとんどなのでしょうか、空が大きく青く美しかったです。

最後に質疑応答がありました。まず、人口について。約三千万人。

食事について。カレーを 1 日に 2 回は召し上がるそうです。

また、聴講者のなかに、チトワン公園に 6 回も訪れたことがある方がいらっしゃいました。Bada さんはこれに驚かれたと同時に嬉しそうにされていました。

今後 Bada さんと交流される機会があればぜひ、この講演のことを思い出していただき、いろいろな質問をして交流を深めていただければと思います。

トンプソン・リバーズ大学研修生一行来宇

5月15日~17日

2026年5月15日（金）から17日（日）の日程で、友好都市カナダ・カムループス市の大学生ら一行が宇治市を来訪されました。協会では17日に歓迎会として、昼食会を開いた後、昔の遊び等をして交流を深めました。

昔の遊びでは、けん玉・福笑い・だるまおとし・羽子板・こま回しの体験をしていただきました。協会員の方々や、昨年度オンラインで交流した宇治市在住の中学生たちが、TRUの学生たちに遊び方を伝授し、体験ブースは大盛り上がり！

昼食会でも、終始にぎやかな雰囲気で大学生の皆さん、協会の皆さん、中学生の皆さんもとても楽しい時間を過ごすことができました。

ご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました！

一行にとって今回の宇治市滞在も、国際交流の楽しさや大切さを改めて感じる印象深いものとなったと思います。

また来年も学生の皆様にお会いできるのを楽しみに、引き続き市民間交流の発展をめざし、活動していきます！









TRU一行　ホームビジット　5月16日

5月16日（土）に当協会団体会員の「ホストファミリーグループ」を中心にしたご家庭の夕食にTRU（トンプソン・リバース大学）一行を招いていただき、3時間余り交流されました。



最初は緊張していた２人でしたが、息子が去年、トロントにバレエ留学をしたこと、私が仕事や友だちに会いに何度もカナダに行っていることを話すと、自分たちの将来の夢、そのために今勉強していることなど、積極的に話してくれました。

昨年に続き、餃子がメインの夕食でしたが、何度か食べた中で一番美味しかったと、褒めてもらいました。楽しい時間を過ごし、日本が大好きになったそうで、また、戻ってきたい、とのことでした。

お土産も、とても丁寧に吟味して選んだ、地元で作られたものばかりで、嬉しかったです。

楽しいひとときをありがとうございました。　（石田香珠実）

今年もTRUの学生さん達14名がCara先生とTom先生に引率されて5月15日から18日迄宇治に来られました。週末16日の夕方、伊勢村グループは松阪邸を借りて、中・高校生と高齢者の老若男女、総勢12名で、歓迎交流会をしました。栂森佳子さんの三味線の伴奏で、松阪恵子さんの都々逸を愉しんだあと、高校生の藤井千真（カズマ）君がオーストラリアでの体験談を英語で披露、次世代の若者達の頼もしさに、皆で感動しました。　（伊勢村紀久子）









今年は、合同で４人の学生オータムさん、ヘザーさん、ガブリエールさん、ヘーリーさんをお迎えいたしました。

夕食は手巻き寿司とおでんを用意しました。寿司は馴染みがあっても、おでんのような煮物は食べたことがないようです。おでんの具には、もちろん、こんにゃくも加えました。一般的に、こんにゃくを苦手とする外国人は多いようです。

でも、彼らは勇気を出してチャレンジしてくれました。「食べてみると案外悪くない」そんな顔つきでした。未体験の味を食すという点で、異文化に触れるまたとない機会になったのかなと思います。楽しい夕べをありがとうございました。　（北　充代）



2026年5月16日（土）、私は16時20分まで日本語の授業があったため、その後、北家で合同夕食会を開くことになり、学習者4人を連れて帰宅した。帰り道では、まるで授業の続きのように、全員がノートを取り出して新しい言葉とその意味を書き込んでいたので、とても驚いた。

夕食会のメインは手巻き寿司とおでん。日本が好きな皆さんでも手巻き寿司は初めてだったようで、ご飯や具をたくさん入れ過ぎて巻きにくそうにしていたが、とても楽しんでいた。

その中の一人は「ガブリエール・ジゲール・ノルウィージャン」という長い名前だった。聞いてみると、ご両親の離婚後にお母さんが再婚されたため、二人のお父さんの姓を使っているとのことだった。名前一つをとっても、日本との違いを改めて感じた。

また、4人とも食事中でさえノートとペンを手元に置き、時折新しい言葉を書き留めていた。その学習意欲の高さには感心させられた。会話は日本語が中心で、少し英語も交えながら、8人でワイワイと話し、笑いの絶えない、とても楽しく賑やかなひとときを過ごすことができ感謝している。（谷口明美）



当日現れた二人の男性は一人は細身そして、もう一人は体格がよく、予定をしていた浴衣体験は少し心配になり、思わず浴衣を着たいかと聞いてみると、即答でイエス。日本の着物で、食事スタートとなる。

メニューは、サラダ、豆腐、天ぷら、肉じゃが、みそ汁、白いご飯とお漬け物にアイスクリーム。ゲストの二人の名前は、キーガンさん、セスさん。

2人は、日本語を第二外国語として勉強してきているので、日本語で頑張って話してくれ、英語の勉強をしている孫の萌も英語で通訳を頑張り、にぎやかな夕食と国際交流に。お礼にとカナダ国家を歌ってくれ、「♪～　おー、カナダー、おー、カナダー」と六人で合唱となった。



日本文化の紹介は、日本手ぬぐいと百人一首の札を使って坊主めくり。

浴衣にほうかむりの写真の姿をご覧ください。ゲームの坊主めくりは、最後の一周で坊主が連続に出て、持っている札は一人を除いて全員ゼロ。大笑いの結末でした。参加してくださった日本語の先生達、送迎をしてくださった杉左近様にもお世話になりました。

トンプソンリバース大学の授業料はと聞いてみると、背の高いセスさんは無料と。

思わず「優等生？」と聞くと、“indigenous”だと、インデアンではなくインディジナスで、カナダ政府の手厚い支援があるらしい。

この単語は世界で敬意をもって使われているそうです。日本のアイヌもそうだと言って、文化の違い政治の違いと若者の力強さを、短い時間の中で見せていただいた。良い体験を双方でできたと感じています。

（小永井宏子）





今回は２人の男性をお迎えしました。どんな食事を提供しようか毎回悩みますが、今回は一緒にたこ焼きを作って交流しました。生地作りから手伝って頂き、子どもたちもレシピを英語で伝えるなど積極的に関わり、みんなで頑張って作ってくれました。食後には百人一首を紹介し、古文の難しさにとても興味を示されていましたが、さすがに百人一首で遊ぶのは難しいので簡単なかるたで遊びました。お二人とも正座までして本気で遊んでくださり、私たち家族にとってもとても良い時間を過ごさせていただきました。　（田中美沙）

今年のホームビジットでは、男子学生２人をお迎えしました。苦手な食べ物がなかったので、夕食は焼肉にしました。二人とも慣れた様子でお箸を使い、「おいしい」とたくさん食べてくれたので、とても嬉しかったです。





その後、扇子に好きな言葉を漢字で書いてもらいました。文教大学ですでに体験していたため、とても上手に書いていて感心しました。

また、トンプソンリバーズ大学に留学していた娘とも、カムループスの様子、大学生活、日本での体験などについて話をしました。会話がとても弾み、あっという間に時間が過ぎる楽しいホームビジットとなりました。

二人とも礼儀正しく、積極的に会話をしてくれたので楽しく交流することができました。　（玉井文美子）

私たちはリオンとケルシィの二人の女子学生を受け入れました。コロナ前にホームステイ参加以来でした。一人が肉に対するアレルギーがあったことから、日本食で何か魚介類でと考えて、天ぷらを卓上のフライヤーで自分たちも調理してもらい、お好み焼きも提供しました。レシピも英語版で渡し、とても美味しかったようです。また、浴衣を着せて抹茶を立てる体験や囲碁にもチャレンジ、すべてを楽しんでくれたと思います。私達も楽しいひと時が持てました。　（日野由美子）



